

第40回 夕張川流域会議 議事要旨

日時：令和3年10月25日（月）13：30～15：30

場所：南幌町自然再生地



<議題>

- ・ 幌向自然再生地の現地視察
- ・ 各団体からの活動報告

<主な意見>

■ 幌向自然再生地の現地視察

- ・ ミズゴケは、春と秋に増える。水は浅い方が良いと思う。
- ・ 何を作りたいのかによって、デザインや方法が決まる。鋤取るか耕うんしたほうが良い。
- ・ オオハンゴンソウやアワダチソウ等の植物を侵入させないためには、ある程度の水深で水面を造ることだ。
- ・ ここは泥炭があるため酸性になり栄養がないからヤナギも生えない。
- ・ 川は、砂や礫、腐葉土が混じった氾濫原を作るが、その氾濫原は水はけが良い農地になる。今はその氾濫原を川が作れない。
- ・ ミツガシワは、栄養分が多い場所を好むのでここなら増える。かつてはここにもあったはずだ。
- ・ 湿地植物は一番活動する春に植えないと枯死する。樹木は今の時期に植えたほうが良い。
- ・ ミズゴケは根が繋がっているから、重なって高くなっても大丈夫だ。
- ・ ミズゴケが水を酸性にし、それを好む貴重な湿性植物も生える。その構造をつくることだ。
- ・ 人間にとって湿原は、田畑にならない敵だった。自然再生は湿原構造を理解する必要がある。
- ・ 自然再生地は高低差があってもいい。ミズゴケにも水が好きな種とそうでない種がある。

<各団体からの活動報告>

■ ふらっと南幌

- ・ 南幌町は起伏がない町で地平線までよく見える。その町で歩くことを主体にまちおこしを続けている。団体名はフラットな町に気軽にお越しくださいという意味だ。
- ・ 2010年の日本湿原学会の辻井達一氏の講演でホロムイという名が付く植物が7つあることを

知った。フットパス活動を通じてこの七草をまちづくりに活かしたいと考え、九州の東海大学のミズゴケ研究を視察、栽培方法を学んだ。

- ・ 2013年に辻井達一氏メモリアルフォーラムを開催して湿原再生の取り組み成果を報告し、2015年には自然再生事業が始まった。
- ・ フットパスは、毎月第3日曜日に月例フットパスを行っている。収穫期は農産物を食べるツアー、夏は幌向運河の川下り、冬はカンジキを使ったフットパスがある。
- ・ 堤防のごみ拾いをしながら歩き、自然再生地でユウゼンギク等の外来種除去も行う活動もある。
- ・ 5年程前から町保有の幌向原野地の維持管理も行っている。手つかずの原野の乾燥化を防ぐために樹木伐採、ミズゴケの定着試験等を行っている。自然再生地では、馬頭琴の演奏会も実施している。

■おっ鳥クラブ

- ・ 「おっ鳥」やNPOの活動で夕張川を使っている。ショウドウツバメ営巣地对岸は樹林化でコウモリ観察が難しくなっていたが、河川事務所が伐採をしてくれ利用できるようになった。感謝している。

■栗山ハサンベツ里山実行委員会

- ・ ショウドウツバメ営巣地のの上流部を伐根・伐採する計画があるなら、滞筋を考慮して洪水時に水が流れるように川づくりすることも大切だ。
- ・ 伐採してもヤナギは3年くらいで繁茂する。妹尾氏の意見を参考に伐根・伐採して川の水の力で維持管理することを考えたい。
- ・ 今年は水不足で栗沢頭首工魚道の水が少なくサケ・マスがほとんど遡上していなかった。河川事務所が土地改良区に相談し魚道に水を流してくれた。感謝している。

■その他

- ・ ハサンベツ里山計画実行委員会は、河川協力団体として、夕張川全体を良くしたいと考えている。流域の自治体、河川事務所、NPOとともに子ども達の活動を手伝っていきたい。湿原の再生も流域で取り組んでいきたい。

<参加者リスト>

「第40回夕張川流域会議」委員出席者名簿

R3.10.25(月)

委員御氏名	所 属	備 考	出 欠
妹尾 優二	流域生態研究所長		○
飯田 修久	水上単ネット山仁(山仁土地改良区)理事長		○
諸橋 淳	おっ烏クラブ		○
上野 千春	栗山オオムラサキの会		○
高橋 慎	栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会実行委員長		○
久保 和英	河川愛護団体 リバーネット21ながぬま		×
千葉 光弘	夕張川なんでも探検隊		×
西岡 政則	一般社団法人 栗山青年会議所		○
杉本 伸二	夕張川自然再生協議会 事務局長		○
近藤 長一郎	ふらっと南幌 代表理事		○
惣万 祐二	江別市 建設部上木事務所治水課長	代理出席：水谷 洋也 (同 主幹)	○
黒島 滋規	南幌町 都市整備課長		○
安達 史恭	長沼町 都市整備課長		○
山下 徹	岩見沢市 建設部 建設管理課長		×
岩花 司	山仁町 建設水道課長		○
片山 伸治	栗山町 建設課長		○
阿部 充雅	夕張市 土木水道課長		○
密石 修	北海道札幌建設管理部 長沼出張所長		○
杉田 直樹	北海道札幌建設管理部 岩見沢出張所 施設保全室長		○
野上 勝広	夕張川ダム総合管理事務所長		○
大石 珠希	江別河川事務所長		○

※敬称略

委員出席者合計＝ 18名